

2016年9月14日

熊本地震から5か月 復旧から復興への願いを込めて

熊本市へ復興支援金を寄贈

2016年9月14日(水) 熊本市大西市長へ目録贈呈

平成28年熊本地震により被災された皆さまへ謹んでお見舞い申し上げます。

株式会社えがお(代表取締役社長 北野忠男/所在地:熊本市東区東町4-10-1)は、創業以来、地元熊本に育てていただいた企業として、甚大な被害を受けた熊本市の1日も早い復興を支援するため、寄付金1億円を寄贈しました。

<復興支援寄付金 目録贈呈式>

- 日時: 2016年9月14日(水) 13:30~
- 場所: 熊本市役所 市長応接室
- 出席者: 株式会社えがお 代表取締役社長 北野忠男
常務取締役 北野 晶
熊本市 大西一史市長
- 寄贈: 復興支援金 1億円



▲熊本市の大西一史市長(右)に目録を手渡す
弊社代表取締役社長 北野忠男(左)

NEWS RELEASE



「健康」と「笑顔」を提供し、社会へ貢献する

今回の熊本地震において、弊社も少なからぬ被害を受け、社員やその家族の多くが被災しました。

しかし、4月14日の前震直後から、代表北野の陣頭指揮の下、「今こそ地域の方々のためにできることを」と、全社一丸となり復旧、支援活動の一つひとつ行ってきました。



▲緊急避難所として開放した本社1Fホール

社屋を避難所として緊急開放、 本震3日後からは青汁等を避難所にて配布

弊社では4月14日の前震直後より社屋の復旧作業と並行しながら、地域住民の方々のために本社ビルを避難所として緊急開放し、述べ約300名の方々を受け入れました。

本震3日後からは野菜の栄養不足を補うため、代表の北野を筆頭に社員自らが各避難所を訪問し、青汁の配布や炊き出しを実施。これまでに約190か所、350回以上に渡り各避難所を訪問してきました。



▲代表自ら避難所を訪問し、支援を実施



▲これまで190箇所、350回以上に渡り
県内各地の避難所を訪問

<震災から5か月、熊本は復旧から復興へ>

震災後、最も多い時で県内に855箇所あった避難所も、仮設住宅等への入居が進み、現在は13箇所まで縮小しました。

これまでは避難者の方々に寄り添い、より近くで日々の生活と、心と体の健康を支える活動を中心に行ってきましたが、多くの方々が新たな生活への一歩を踏み出したこのタイミングで、復旧から復興へ、新たな支援を行うべく、熊本市へ復興支援金として1億円を寄贈することといたしました。